

第1回福田靖子賞開催、 関本昌平さんが受賞

8月27日(水)～8月29日(金)

準賞に田村さん、奨励賞に實川さん、ベストレッスン賞に津島さん



▲関本昌平さん(中央)がコンペグランプリに続き、福田靖子賞を受賞した。表彰式にて3名の審査員(海外教授)、4名の特別委員と。



▲準賞を受賞した田村響さん。その才能が高く評価された。

海外に羽ばたく若いピアニストを支援する「福田靖子賞選考会」が、8月27日～29日東京にて行われた。3名の海外教授によるレッスンと、成果発表会での演奏で総合評価される新しい形式のオーディション。書類審査を経た9名の演奏は、いずれも高校3年生以下とは思えぬ熟達したものであった。

栄えある第1回靖子賞に輝いたのは、2003年度コンペグランプリの関本昌平さん。レッスンでの理解度と成果発表会での集中力漲る演奏、

そしてその将来性が高く買われた結果だ。奨学金100万円は、海外での勉強の資金としてあてられる。また、準賞には田村響さん(2002年度グランプリ)。発表会当日も別の演奏会を控える等、既にプロとして演奏活動を始動している田村さんは、アーティスティックな演奏を披露し、やはりその能力と資質を高く評価されて受賞となった。さらに、奨励賞に最年少の實川風さん(中2)、ベストレッスン賞に津島圭佑さんが選ばれた。

参加者コメント

●今回の福田靖子賞は、3人の外国の先生方のレッスンを受けたいと思って応募しました。リグット先生のレッスンでは、特に先生が特別な思い入れを持っていらっしゃる「アンダンテ・スピナートと華麗なる大ポロネーズ」を中心に、休憩時間までつぶして1時間半近くも熱心に指導して下さいました。ピサレフ先生は、チャイコフスキーの「ドゥムカ」で、「全ての音を大切に、一音も無神経に叩かないように」と教えて頂きました。これは難しかったです。プロコフィエフを見て頂いたポライ先生からも、新鮮なアドバイスを頂きました。僕の「東の間の幻影」は、レッスン後がらりと変わりました。3人の素晴らしい先生

方のレッスンを受けることができ、さらに奨励賞まで頂いてとても嬉しかったです。(實川風)

●福田靖子賞選考会の3日間は、色々勉強になりました。外人の先生方のレッスンは、それぞれ違った楽しさで、また演奏会の後先生方から頂いたアドバイスも、大変参考になりました。レパートリーが技巧的なものに偏りすぎていたというお言葉も、今後のレパートリー選曲の上で役に立ちます。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。これからも演奏を聴いてくれる方々の心に残る音で弾ける演奏家を目指して頑張ります。(尾崎有飛)
※「福田靖子賞」受賞の関本昌平さんのコメントは、本誌連載「入賞までの軌跡」にてご紹介しております。



▲朗読(女優の結城しのぶさん)とピアノ演奏(大澤勇さん)はムード的な雰囲気の中で。



上段)皆で弾きあう楽しいひと時。
下段)川上昌裕先生はカプーステンとメトネルを演奏。



アミューズサロン、 雰囲気たっぷりで大盛況 8月16日(土)

7月30日(金)、第1回となるアミューズ対象のサロンを開催した。堅苦しい演奏会形式ではなく、ドリンク片手に語り合いながら、自由に好きな曲を演奏できるサロン形式。第1回目を記念して、国際委員長の今井顕先生がモーツァルトの小品を演奏して下さった。照明を落としてムード満点の会場には、おおよそ30名ほどのピアノ愛好者、指導者が集い、輪になって他己紹介し合う等の演出で、大いに盛り上がった。

また第2回目は8月16日(土)アミューズ部門本選会の後に、隣接会場にて行った。こちらでは、川上昌裕先生によるピアノの弾き比べ(スタインウェイとザイラー)、語りと演奏など、楽しめる企画が盛りだくさん。和気藹々とした雰囲気で開催者同士、交友を深めた。

なお、アミューズ(ピアノ愛好者の呼び名)は、『グランミュージック』に改称予定。詳しくは本誌ニュースページをご覧ください。



ステップのアドバイザー研修会が、ポピュラー編、アンサンブル編の2回にわたり開かれた。より幅広い課題曲に対して的確なアドバイスができるよう、受講したアドバイザーの先生方は熱心に聞き入っていた。

左上) アンサンブル編 講師: 江崎光世先生、喜多村知子先生。
左中央) ポピュラー編 講師: 佐土原知子先生、丹内真弓先生。
左下) ポピュラー編 講師: 丹内真弓先生。
上) クラシック編 講師: 江夏 祐子先生。



幅広い課題曲に対応 9月9日(火)・9月24日(水) ステップのアドバイザー研修会開かれる